

科目名	特別ゼミ							年度	2026
英語科目名	Special seminar							学期	後期
学科・学年	柔道整復科 3年次	必/選	必※	時間数	60	単位数	4	種別※	講義
担当教員	宮本功三、青木伊之、後藤晃弘、杉本知、加藤健太、秋田雄大、有山敦士	教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師(接骨院にて勤務経験あり)		

**【科目の目的】**

柔道整復師国家試験合格のための特別講座である。

**【科目の概要】**

柔道整復師国家試験は全11科目の合計250問で構成されます。国家試験に合格し柔道整復師の資格を取得するためには、必修科目50問中40点以上、基礎専門科目200問中120点以上の得点が求められます。特別ゼミでは国家試験を直前に控えた3年生に対して3年間で得た知識の総復習を行い、受験生全員が合格することを目的とします。

**【到達目標】**

国家試験合格基準の必修問題40点以上、基礎専門科目120点以上を目指すことを目標とします。

**【授業の注意点】**

国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目の単位は取得できない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	国家試験の合格基準を完全に理解している。	国家試験の合格基準を大理解している。	国家試験の合格基準を部分的に理解している。	国家試験の合格基準について理解がやや不足している。	国家試験の合格基準を理解していない。
到達目標 B	国家試験で過去に出題された問題について完全に理解している。	国家試験で過去に出題された問題の内容を大理解している。	国家試験で過去に出題された問題の内容を部分的に理解している。	国家試験で過去に出題された問題について理解がやや不足している。	国家試験で過去に出題された問題の内容を理解していない。
到達目標 C	必修問題50問の内容を完全に理解している。	必修問題50問の内容を大理解している。	必修問題50問の内容を部分的に理解している。	必修問題50問の内容について理解がやや不足している。	必修問題50問の内容を理解していない。
到達目標 D	基礎問題78問の内容を完全に理解している。	基礎問題78問の内容を大理解している。	基礎問題78問の内容を部分的に理解している。	基礎問題78問の内容について理解がやや不足している。	基礎問題78問の内容を理解していない。
到達目標 E	専門問題122問の内容を完全に理解している。	専門問題122問の内容を大理解している。	専門問題122問の内容を部分的に理解している。	専門問題122問の内容について理解がやや不足している。	専門問題122問の内容を理解していない。

**【教科書】**

各科目の教科書（柔道整復学校協会監修）に準拠する。

**【参考資料】**

国家試験問題出題基準（柔道整復学校協会監修）

**【成績の評価方法・評価基準】**

授業時数の3/4以上の出席をもって単位とする。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		特別ゼミ			年度	2026
英語表記		Special seminar			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル		評価方法
1	解剖学	国家試験問題出題基準に則った想定問題への対応力を身につける。	1 知識の総復習	3年間の知識の総復習を行う。		3
			2 過去問題の把握	過去に出題された問題を把握する。		
			3 練習問題の反復	練習問題を反復して取り組む。		
2	生理学	国家試験問題出題基準に則った想定問題への対応力を身につける。	1 知識の総復習	3年間の知識の総復習を行う。		3
			2 過去問題の把握	過去に出題された問題を把握する。		
			3 練習問題の反復	練習問題を反復して取り組む。		
3	運動学	国家試験問題出題基準に則った想定問題への対応力を身につける。	1 知識の総復習	3年間の知識の総復習を行う。		3
			2 過去問題の把握	過去に出題された問題を把握する。		
			3 練習問題の反復	練習問題を反復して取り組む。		
4	病理学	国家試験問題出題基準に則った想定問題への対応力を身につける。	1 知識の総復習	3年間の知識の総復習を行う。		3
			2 過去問題の把握	過去に出題された問題を把握する。		
			3 練習問題の反復	練習問題を反復して取り組む。		
5	予防指導	国家試験問題出題基準に則った想定問題への対応力を身につける。	1 知識の総復習	3年間の知識の総復習を行う。		3
			2 過去問題の把握	過去に出題された問題を把握する。		
			3 練習問題の反復	練習問題を反復して取り組む。		
6	施術概論	国家試験問題出題基準に則った想定問題への対応力を身につける。	1 知識の総復習	3年間の知識の総復習を行う。		3
			2 過去問題の把握	過去に出題された問題を把握する。		
			3 練習問題の反復	練習問題を反復して取り組む。		
7	外科学総論	国家試験問題出題基準に則った想定問題への対応力を身につける。	1 知識の総復習	3年間の知識の総復習を行う。		3
			2 過去問題の把握	過去に出題された問題を把握する。		
			3 練習問題の反復	練習問題を反復して取り組む。		
8	整形外科学	国家試験問題出題基準に則った想定問題への対応力を身につける。	1 知識の総復習	3年間の知識の総復習を行う。		3
			2 過去問題の把握	過去に出題された問題を把握する。		
			3 練習問題の反復	練習問題を反復して取り組む。		
9	柔道	国家試験問題出題基準に則った想定問題への対応力を身につける。	1 知識の総復習	3年間の知識の総復習を行う。		3
			2 過去問題の把握	過去に出題された問題を把握する。		
			3 練習問題の反復	練習問題を反復して取り組む。		
10	関係法規	国家試験問題出題基準に則った想定問題への対応力を身につける。	1 知識の総復習	3年間の知識の総復習を行う。		3
			2 過去問題の把握	過去に出題された問題を把握する。		
			3 練習問題の反復	練習問題を反復して取り組む。		
11	社会保険制度	国家試験問題出題基準に則った想定問題への対応力を身につける。	1 知識の総復習	3年間の知識の総復習を行う。		3
			2 過去問題の把握	過去に出題された問題を把握する。		
			3 練習問題の反復	練習問題を反復して取り組む。		
12	骨折理論	国家試験問題出題基準に則った想定問題への対応力を身につける。	1 知識の総復習	3年間の知識の総復習を行う。		3
			2 過去問題の把握	過去に出題された問題を把握する。		
			3 練習問題の反復	練習問題を反復して取り組む。		
13	脱臼理論	国家試験問題出題基準に則った想定問題への対応力を身につける。	1 知識の総復習	3年間の知識の総復習を行う。		3
			2 過去問題の把握	過去に出題された問題を把握する。		
			3 練習問題の反復	練習問題を反復して取り組む。		
14	軟部組織損傷理論	国家試験問題出題基準に則った想定問題への対応力を身につける。	1 知識の総復習	3年間の知識の総復習を行う。		3
			2 過去問題の把握	過去に出題された問題を把握する。		
			3 練習問題の反復	練習問題を反復して取り組む。		
15	包帯固定法	国家試験問題出題基準に則った想定問題への対応力を身につける。	1 知識の総復習	3年間の知識の総復習を行う。		3
			2 過去問題の把握	過去に出題された問題を把握する。		
			3 練習問題の反復	練習問題を反復して取り組む。		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等